

## 協進レター80号

平成24年10月5日

台風が連続して列島に向かっている今日この頃ですが、お仕事ご苦労様です。

人事考課評価について結果を各人に通知していきませんが、過去12ヶ月の数値実績を踏まえて「我が社の将来はこうあるべきだ」という視点で、考課評価をさせていただきました。

前79号で、「地域社会のインフラを目指す様々なサービスを用意し、利用者から愛され親しまれ、働く社員が仕事に使命感を持って、いつも明るく楽しく喜んで働いて、小さいながらも経営基盤の安定した老舗企業として存続していくことを目指し、既成概念に囚われることなく、様々に取り組んでいます。これを具体的に落とし込んだものが、安心挨拶や行動指針であって、変則シフトの編成であり、時間当の生産性という考え方であり、人事考課評価の意味があると理解して下さい。在籍している社員一人一人が、「安全確保とサービスは非効率的でも完全に」、「運行と営業においては効率的に」を実践して成長し、皆が協調しながら決めごとを守って生産性を上げ、稼働高を伸ばすことで明るい展望が開けてきます。」と書かせていただきました。

常日頃からタクシーサービスが欲しいという需要は、将来的に増加傾向に無いことは既に承知のとおりです。そうであれば現存する需要の取り合いになるのが必然です。

ですから、タクシー利用者層に選んでご利用していただけるよう、安心挨拶・行動指針の実践を謳っています。「協進さんは・・・。」と、よくお褒めの言葉をいただきますが、**まだまださらに上を目指して、**

**精度をあげてやり続けるべきです。**この地域でタクシーを日常的に利用して下さる皆様方の多くが、携帯電話のメモリーに0474444592と、登録するように全員で実践し続けるべきです。まずこれを、評価の対象にしました。

一方、お客様の利用時間帯が集中したり、非日常的な特需が発生したりします。予測が間近まで難しいこの特需に対応ができると、利用者には大変喜ばれます。非日常的であったご利用者様を日常のお客様に替えるチャンスも生まれます。**何よりも、売上が増えます。**

日常的な需給バランスを考えたシフトを遵守できるよう、1ヶ月720時間中の200時間程をいかに業務に集中できるよう、どのくらい留意してくれているのか。予測が間近まで難しい特需が発生している、発生しそうと事務所側が判断した時に、対応すべき取った手段に協調してくれているか。非効率であっても安全確保やサービス提供には、手を抜かずに取り組んでいるか。運行や営業については効率を考えて、空車時の待ち方、走り方、非生産業務の片づけ方。**協進交通の営業方針・営業方法をよく理解していて、定められた服務規律や無線運用規定、点呼で申し合わせたルールや慣習等、自身都合のよい解釈することなく遵守している**かの評価内容を、具体的に示して、まずは自己評価をしてもらいました。

そして会社評価ですが、全職員で10点満点評価しその平均点を四捨五入しました。自己評価と会社評価に乖離がある所は、素直に受け止めてもらい改善に努めて下さい。

**これからも、全社員一人一人がこの考課評価をアップさせていくことが、売上増・所得増につながり、会社が質的成長を果たしていけると信じています。**